

1. 子育て座談会 2. 土曜こども寺子屋 3. 心をはぐくむ講座 4. 人づくり地域懇談会

## ★ゆっくり語り合える保護者の居場所

### 子育て座談会

(問合せ) 長泉町教育委員会生涯学習課

☎055-986-2289

✉syogai@town.nagaizumi.lg.jp



市町の取組紹介

長泉町は子育て支援に力を入れており、出生率が高く子育て世代の移住者も多い町です。子育て支援の取組として、生涯学習施設のコミュニティながいずみにおいて年に5回ほど子育て座談会が開かれています。子育て中の保護者はだれでも参加でき、子どもを遊ばせながらゆっくり話をするすることができます。

### ◇クリスマス座談会

令和5年12月23日に開催された座談会は、折り紙でクリスマスリースを作りながら、人づくり推進員の鈴木真澄さんと子育てについてゆっくりお話ができる会でした。折り紙でのリースづくりは、子どもはもちろん、参加した保護者も真剣になって取り組んでいました。折り紙がわからないときに他の保護者に聞くことで会話が生まれ、使用する折り紙の色や模様などを選ぶときは楽しく盛り上がりました。地域学校協働本部ボランティアの方や町の生涯学習課の職員の方が、たくさん用意されたおもちゃで子どもたちと楽しく遊び、あたたかく見守られているため、まだ折り紙が折れないような小さな子どもを連れてきている保護者の方も、安心して子育ての相談をするなど、リラックスして過ごすことができていました。

▶とてもおしゃやれで素敵なリースを作っていました



### ◇ハンドベルミニコンサート

この日の子育て座談会では特別企画として、長泉町で活躍する演奏団体の長泉ベルママンによるハンドベルミニコンサートが開かれました。クリスマスらしい曲がハンドベルやトーンチャイムの美しい音色で奏でられ、子どもたちも配られた小さな鈴やマラカスなどを曲に合わせて思い思いに鳴らし、演奏に参加していました。

また、長泉ベルママンの演奏の後には、子どもたちがハンドベルを体験できるコーナーがありました。長泉ベルママンが使用しているハンドベルは、子どもたちが幼稚園などで使っていたカラフルなハンドベルと比べるとかなり重たく、きれいな音を出すための振り方も難しいものでした。それでも、長泉ベルママンの方に教わりながら楽譜を読み、子どもたちそれぞれが担当するハンドベルをタイミングよく鳴らすことで、とても上手にきらきら星などを演奏することができました。

▶美しい演奏に、大人も子どもも聞き惚れていました





★幸せの分かち合い=分福  
土曜こども寺子屋

(運営) <sup>りょうしんじ</sup> 龍津寺 おじま観音

住職：勝野 秀敏さん (人づくり推進員)、  
ボランティアの皆さん



静岡市清水区小島町にある龍津寺では、月に約2~3回、土曜こども寺子屋が開かれています。

地元の子どもたちが集まり、大学生や社会人のボランティアの“先生”たちと一緒に、勝野さん(子どもたちからは「和尚さん」と呼ばれています)のお話を聞いたり、勉強をしたりして過ごす居場所です。

◇小島の寺子屋と SDGs

朝8時半、龍津寺の本堂には30人ほどの子どもたちが集まります。寺子屋は朝の挨拶とその日のボランティアによる自己紹介から始まります。ボランティアは50人以上の登録があり、毎回参加している人もいれば、久しぶり、初めての人もいます。寺子屋では「名前を呼ぶこと」を大切にしているため、参加者は全員名札をつけています。

挨拶が終わると、勝野さんが憲法や論語などをその日のテーマにより解説しながら子どもたちに教えます。この日は能登地震を受け、心身の不調が見られたときの対処法の1つとして「気持ちや感情はちゃんと言葉にしてみよう」と伝え、震災からの復興をみんなで願いました。

お話の後はそれぞれ持ってきた教材で勉強をします。子どもたちは大人と色々なことを話しながらとても楽しそうにしており、リラックスした様子で学習を進めていました。「龍津寺への取材」を行っていた子もいました。お仕事をされていて嬉しかったことを尋ねられた勝野さんが、「子どもたちが『おしょうさ〜ん』と呼んでくれること!」と答えると、どこからともなく「おしょうさ〜ん」と呼ぶ声が聞こえてきました。

また、この日は静岡大学地域創造学環の学生による「SDGsを楽しく学ぶワークショップ」が開催されました。子どもたちは小島地域に関わるゴールを学び自分ができていることを考え、大学生が用意したSDGsすごろくを使って学びを深めていました。



▲勝野さんのお話を聞いています



▲集合写真

◇4年ぶりの分福食堂

子どもたちが寺子屋で勉強をしている間、お寺の裏ではビッグイベントの準備が行われていました。コロナ禍で活動を自粛していた「おじま分福食堂」の再開となる、豚汁の調理とお赤飯のおにぎりづくりです。分福食堂は、活動を休止している間もお米を持ってきてくれる人やお金を寄付してくれる人がいたほど、再開が望まれていた龍津寺の取組の一つです。普段は本堂でお茶の時間としているようですが、この日は外でどんと焼きをしながらみんなでおいしい豚汁とお赤飯をいただきました。おかわりをしている子も、どんと焼きの橙をこんがり焼いている子も、見守る大人も全員が笑顔で、「一人ひとりが幸せになり、その幸せを分かち合う」分福の心が境内にあふれていました。



▲嬉しそうに豚汁を食べる子どもたち





## ★心ゆたかな人づくり 心をはぐくむ講座

(問合せ) 袋井市教育委員会生涯学習課

☎0538-86-3191

✉syougai@city.fukuroi.shizuoka.jp



袋井市キャラクター フッピー

袋井市では、人権についての正しい理解を深め、思いやりのある地域社会を考える機会とするため、「心をはぐくむ講座」を開催しています。令和5年度は12回開催され、そのうち3回は人づくり推進員による講演が行われました。

### ◇あなたはあなたのままでいいよ

袋井市は、特色ある地域づくりを進める拠点として各地区にコミュニティセンターを設置しています。心をはぐくむ講座は、各地区の家庭教育学級の保護者等を対象としてコミュニティセンターで開かれ、人権等をテーマとする講話やグループワークが行われます。

令和5年10月27日に袋井北コミュニティセンターで開催された心をはぐくむ講座では、人づくり推進員の村田美千子さんが、「わたしのままでいいんだよ みんな違って大丈夫 子育てだって」と題し講演を行いました。村田推進員は、自尊心と自己肯定感を育てる意義を説明し、自身の経験を通して親が子どもの学校生活を知るコツを参加者に伝授しました。また参加者が全員で同じお題の絵を描くことで、人はそれぞれ感じていることが違うという多様性を実感しました。それを踏まえてもし自分の子どもが「学校に行きたくない」と言ってくるまでその気持ちに気が付けなかったとしても、自分を責めなくていいというお話があり、参加した保護者が安心できるあたたかい講座となりました。



村田推進員による講演

## 子どものやる気をどう育てる？

### ♪エピソード♪

お母さんが台所で食器を洗っていると、3歳のカズオくんがやってきて、「ぼくがやる！」と言ってききません。「ありがとう。」と言って頼みましたが、水はパチャパチャとまわりに飛び散るし、なかなか洗い終えそうにありません。おまけにお皿には汚れがまだ残っています。

お母さんは、がまんできずにお皿を取り上げると、「こう洗うのよ。」と言ってきれいに洗って見せましたが、表情がくもってしまったカズオくんを見て、「もう少しやらせてあげてもよかったかな。」と思いました。

### ▲つながるシートに記載されているエピソード



▲5人1組でグループワークを行いました

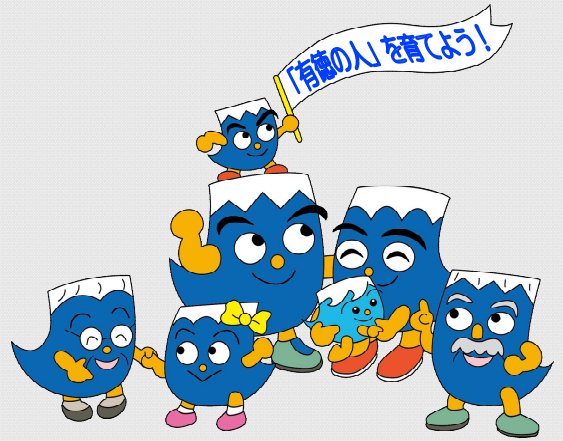
### ◇つながるシートのグループワーク

講話のあとには、袋井市の家庭教育支援員のコーディネートにより、「子どものやる気をどう育てる？」をテーマに、県教育委員会作成の「つながるシート」(親同士が話し合いをする時に使うワークシート)を用いたグループワークが行われました。「子どもが何でも自分でやりたがるようになり、やらせてみたものの困ったこと」について、参加者がそれぞれの家庭でのエピソードを話しました。特に、セルフレジを子どもが打ちたがる、料理をしたがるが包丁や火が危ない、等といった悩みには他の参加者からも多くの共感の声があがり、相談し合う場面が見られました。

最後に袋井市の社会教育指導員の方による絵本の朗読が行われ、この日の講座は閉会しました。閉会後にも、参加者の方々は袋井市生涯学習課が用意したおすすめ絵本を手にとったり、子どもについてしばらく話していたりしました。心をはぐくむ講座は、学びを提供するだけでなく、保護者の交流と悩み解決の場となっていました。

## ★人づくりについて考えてみませんか 人づくり地域懇談会

(問合せ先) 静岡県スポーツ・文化観光部  
総合教育課  
☎054-221-3304  
✉sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp



静岡県では、富国有徳の美しい“ふじのくに”の未来を担う「有徳の人」づくりを進めています。スポーツ・文化観光部総合教育課では、「有徳の人」づくりの推進のため、家庭や地域における子育てなど、人づくりについて助言等を行う方を「人づくり推進員」として委嘱しています。

### ◇人づくり推進員とは

人づくり推進員は、「有徳の人」づくりの考え方を県民の皆さまに知っていただき、家庭や地域における人づくりの実践活動を促進するため、平成12年度から活動を開始しました。現在は95人の人づくり推進員が県内各地で活動しています。

人づくり推進員は、幼稚園や保育園、学校や公民館等で開催される「人づくり地域懇談会」において、子育てやしつけ等に関する講演をしたり、参加者同士の意見交換の橋渡し役などを担います。また、講演だけでなく、地域コミュニティの形成や居場所づくり、自然体験や伝統・文化に関する活動、あいさつ運動やボランティアなど、得意分野に応じて人づくりにつながる活動を行っています。

子育てや地域の人材育成について、人づくり推進員と一緒に考えてみませんか。

### ≪人づくり地域懇談会の開催例≫

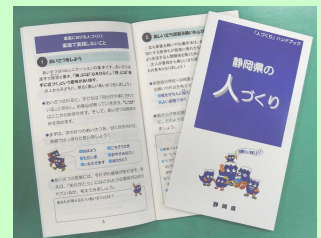
- 子育て講演会・保護者会
- 授業参観の際の講演会・学級懇談会
- PTA 教育講演会・役員研修会
- 入学説明会での子育て講演会
- 家庭教育学級での講演会
- 青少年健全育成会での講演会 など

### ≪人づくり地域懇談会のテーマ例≫

- 子どもの褒め方・叱り方
- 子育てにおける心構え
- 親子の触れ合いの大切さ
- スマホのある子育てを考えよう
- 子育てに関する悩み相談会
- 地域における防災講座 など

## 人づくり地域懇談会のご案内

県では、原則無料で人づくり推進員を県内各地に派遣し、「人づくり地域懇談会」を行っています。「人づくり地域懇談会」では、家庭や地域における人づくりのヒントが詰まった「人づくりハンドブック」を使い、人づくりや子育てに関するアドバイスや、県の進める「人づくり」について御説明します。学校・家庭・地域の人づくりや子育ての手助けができるように、参加者と一緒に考え、人づくりを推進しています。「人づくり地域懇談会」や「人づくりハンドブック」については県総合教育課にお問い合わせください。



～人づくりハンドブック～  
「人づくり地域懇談会」の参加者や御希望の方へ無料で配布しています。

■編集・発行 静岡県 スポーツ・文化観光部 総合教育局 総合教育課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

TEL 054-221-3304

E-mail sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp

FAX 054-221-2905

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/kodomokyoiku/shogaigakushu/hitozukuri/index.html>

静岡県の人づくり

検索

